

循環あいち 特別寄稿

100号記念

「循環あいち」
89号～ 広報編集委員長
中野 兼司

循環あいち100号まで続けられたことは、毎回貴重な時間を割いて編集会議等でリーダーシップを示された歴代の編集委員長はじめ、各編集委員・事務局のご協力の賜物だと思っております。改めて敬意と感謝を申し上げます。

私は89号から携わっておりますが、最初は何も分からず手探り状態で、編集をどの様に進めて、何を大切にしていかなければならないか、正直に言いますと理解不足であったと反省しております。現在はお陰様で、優秀な編集委員の皆さんと事務局の強力なサポートを得ながら進めさせていただいています。

今は電子媒体のペーパーレス・インターネットが主流ではありますが、紙媒体は我々の業界から発信をするにあたり、幅広い年齢層に伝えられる、大変重要な役割を担っていると理解しております。

各市町の行政担当者も「循環あいち」を情報収集の一つとして取り扱っていると聞いております。

今年の初めに「ダイコーによる不適正処理」が発覚し、我々の業界が積み上げてきた社会的信頼を失墜してしまう大きな事案の衝撃が全国を駆け巡りました。

再度信用を取り戻すための手段として、産廃業界の透明性「見える化」の促進があります。ホームページでの情報公開や産廃業界の情報発信手段の一つが「循環あいち」であると思っております。

100号記念の節目を迎えられたことに感謝し、今後も愛知県産業廃棄物協会及び産業廃棄物処理業界の「社会的評価向上」に少しでもお役に立てられる様、率先して情報発信していく所存でありますので、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが初稿から携わり、裏方として長年我々を支えていただいております、(有)トピック 宮澤義一氏に心より感謝とお礼を申し上げ、広報編集委員長としてのの祝いとさせていただきます。



Vol. 90 (平成26年/1月)
平成25年度県・市行政と
愛産協との懇談会



Vol. 89 (平成25年/10月)
広報編集委員長に就任



Vol. 95 (平成27年/4月)
尾張北支部/施設見学会



Vol. 97 (平成27年/10月)
尾張三支部合同事業継続計画
(BCP) 研修会開催



Vol. 94 (平成27年/1月)
春日井市との間に「災害時における廃棄物等の処理
に関する協定」締結

